

注：状況により秋学期水曜 2 時限に開講

## コミュニティデザインとビジネス科目群

科目コード	OG245	科目名	環境保全とコミュニティ形成		科目群	第 2 群
担当者	永石 文明 (ナガイシ フミアキ)					
開講日程・時限	秋期集中 11月 2日、3日、4日(10:00～ 17:00)	授業方式	対面	単位数	2 単位	
備考	履修人数制限あり					
授業の目標	里山と里川というヒトが関わる二次的自然の自然再生を対象にしたフィールドワークを通して、どのような背景や課題があり、その課題解決に向けて地域の人々はどのように取り組んできたのかを探る。社会システムと生態システムを総合的に捉える考え方を身につける。					
授業の内容	最初の 2 日間は、「里川の自然再生とコミュニティ」(落合川/東久留米市)と「里山の自然再生とコミュニティ」(狭山丘陵/所沢市・入間市)のテーマで社会と生態の情報の洗い出し作業や現場でのヒアリングなど、質的フィールドワークを実施。最後の 1 日は学内での講義とワークショップでまとめる。(キーワード:自然再生、生態系、コミュニティ形成、パートナーシップ、コミュニケーション、ネットワーク形成、生態系サービス、生物多様性保全、住民参画、祭礼)。					
授業計画	<p>第 1 日 第 1 回 落合川の川や都市環境、神社等への実感導入 (現地を知る)</p> <p>第 2 回 里川の自然再生とコミュニティの紹介 (現地ガイダンス)</p> <p>第 3 回 現地踏査による自然資源の抽出作業 (自然要素の確認)</p> <p>第 4 回 現地踏査による社会システムの抽出作業 (社会要素の確認)</p> <p>第 5 回 里川の自然再生とコミュニティ形成の関係について討議</p> <p>第 2 日 第 6 回 狭山丘陵の谷戸田と雑木林への実感導入 (現地を知る)</p> <p>第 7 回 里山の自然再生とコミュニティの紹介 (現地ガイダンス)</p> <p>第 8 回 現地踏査による自然資源の抽出作業 (自然要素の確認)</p> <p>第 9 回 現地踏査における社会システムの抽出作業 (社会要素の確認)</p> <p>第 10 回 里山の自然再生とコミュニティ形成の関係について討議</p> <p>第 3 日 第 11 回 自然環境保全の講義</p> <p>第 12 回 里山と里川に関するフィールドワークの整理</p> <p>第 13 回 ワークショップ (カテゴリー抽出とフレームワーク創り)</p> <p>第 14 回 フレームワーク作成と発表 (ポスター発表)</p>					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	フィールドワーク時に当該地のパンフレットや資料等を配布					
上記教科書以外の参考図書	永石文明、2016、「多様なコモンズを活かしたフィールドミュージアムの持続可能性」『立教大学社会学部研究紀要 応用社会学研究』No.58、199 - 211。					
その他 (HP 等)	落合川と南沢湧水群 <a href="http://www.city.higashikurume.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/000/080/2017.10_guidemap.pdf">http://www.city.higashikurume.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/000/080/2017.10_guidemap.pdf</a>					

注：状況により秋期集中講義期間に開講

## コミュニティデザインとビジネス科目群

科目コード	OG245	科目名	環境保全とコミュニティ形成		科目群	第2群
担当者	永石 文明 (ナガイシ フミアキ)					
開講日程・時限	秋学期・水曜日・2時限	授業方式	オンライン	単位数	2単位	
備考	履修人数制限なし					
授業の目標	国立公園や河川、森、湿原、農地など、原生的自然から身近な自然環境まで、ヒトが関わる自然環境の自然再生と教育的活用を通して、どのような背景や課題があり、その課題解決に向けて関係者や地域の人々はどのように取り組んできたのかを探る。地史から生物相、自然保護、ヒトと自然、ヒトとヒトとの関わりなど、統合的アプローチの視点で、環境保全を考える。					
授業の内容	内外の国立公園や水辺、雑木林、照葉樹林、農地という環境事例をもとに、自然環境、保全活動、教育的活用について、講義とともに受講生の皆さんとともにディスカッションを通して授業を進めます。(キーワード：自然再生、多自然川づくり、グリーンインフラ、コミュニティ形成、流域パートナーシップ、市民参加モニタリング、住民参画、エコツーリズム)。					
授業計画	第1回 9/21 国立公園：やんばるの森の自然環境保全（自然資源保全とエコツーリズム） 第2回 9/28 国立公園：タイ王国の自然環境保全（野生動物保護とヒトとのゾーニング） 第3回 10/5 国立公園：コンゴ共和国の動物と先住民（自然保護とパートナーシップ） 第4回 10/12 河川：朝霞・東久留米市の黒目川・落合川（治水と流域パートナーシップ） 第5回 10/26 河川：川越市の赤間川・入間市の大森調節池（治水と生態系再生） 第6回 11/9 森林：入間市の狭山丘陵（地域住民参画と里山再生） 第7回 11/16 森林：始良市のJTの森（照葉樹林再生・市民参加モニタリング） 第8回 11/30 山野：野生植物の環境教育活用（山野草を軸としたエコツーリズム） 第9回 12/7 谷戸：あきるの市の横沢入（開発から保全へ。NPOによる棚田再生） 第10回 12/14 谷戸：所沢市の八幡湿地（開発から保全へ。地域住民参画と教育イベント） 第11回 12/21 農地：埼玉県ときがわ町の里山スマイルぐるぐる農園（CSA・不耕起） 第12回 1/11 農地：所沢市・三芳町の三富新田（江戸農法と市民ボランティア） 第13回 1/18 暮らしと生物多様性：サステナブル・ライフ（フットプリント、絶滅危惧種、マイクロプラスチック、生態系サービス、生物多様性）					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	講師の現地での調査研究やネイチャーガイドに基づく資料により、講義用テキストを作成し、その都度、PDFで配布。					
上記教科書以外の参考図書	狭山丘陵関係資料：永石文明、2016、「多様なコモンズを活かしたフィールドミュージアムの持続可能性」『立教大学社会学部研究紀要 応用社会学研究』No.58、199 - 211。					
その他（HP等）	検索用語：（「落合川と南沢湧水群」、「やんばるの森」、「Western Forest Complex」、「ヌアバレンドキ国立公園」「かちわごえ環境ネット」「さいたま緑の森博物館」「JTの森重富」「里山スマイルぐるぐる農園」「三富新田」）					